



令和7年4月22日

庁舎等のゼロカーボン化が進んでいます

～本庁舎はエネルギーのゼロカーボン達成！～

春日部市は、地域脱炭素実現の先駆者として、庁舎等で使用するエネルギーのゼロカーボン化を着実に進めています。

1. 電力のゼロカーボン

①電気の地産地消

市は東急不動産と PPA 方式(※1)による公共施設への太陽光発電設備等の導入を進めており、市役所本庁舎および武里南小学校への太陽光発電設備等の設置工事が完了しました。

市は、東急不動産と 20 年間の電力購入契約を交わし、電気の地産地消を進めます。

また、令和 10 年度までに、公共施設計 20 施設程度へ太陽光発電設備および蓄電池の設置を進め、再生可能エネルギーの活用および防災力の強化(※2)を図っていきます。

〔設備概要〕

	太陽光発電	蓄電池
市役所本庁舎	129kW	20kWh
武里南小学校	146kW	10kWh



本庁舎に設置したフレキシブルパネル
(薄くて軽く、建物への負担が少ない)

②電気のリバースオークション(※3)で再エネ電気

公共施設における再エネ電気の促進と、適正な価格での電気調達を両立する手段として、株式会社エナジーバンクによるサービス「エネオク」を初導入しました。この結果、令和7年度から 67 施設で再エネ 100%、6 施設で再エネ 30%の電気調達を開始しています。今後も段階的に再エネ比率アップを進めていきます。

	令和6年度	令和7年度
再エネ 100%の施設	12 施設	67 施設
再エネ 30%の施設	0 施設	6 施設

2. カーボン・オフセットガス(※4)

令和7年4月から、本庁舎では都市ガスについても、二酸化炭素の排出量が実質ゼロとなるメニューを導入しました。1月21日に株式会社エナジー宇宙とゼロカーボンの取り組みに係る連携協定を締結し、その取り組みの1つとして実施するものです。

市役所本庁舎はエネルギー由来のCO₂排出量ゼロを達成しました！

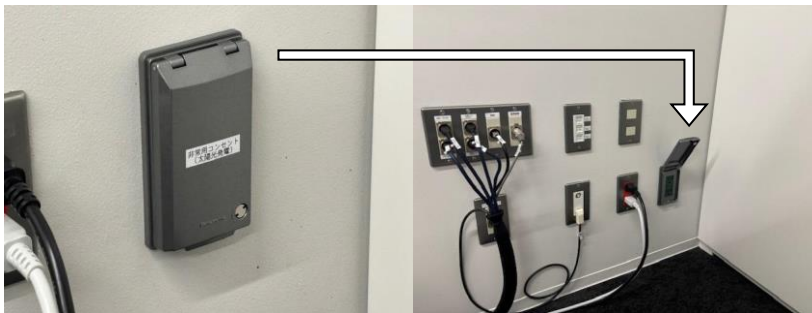
※1 PPA(Power Purchase Agreement、電力購入契約)

「第三者所有モデル」とも呼ばれ、自治体が保有する施設の屋根などに事業者が設備を設置し、維持・管理を行い、市はそこで発電した電気を購入する契約。

※2 防災力の強化

本庁舎では、災害対策本部となる会議室に、追加で非常用コンセントを設置するとともに、ピロティ駐車場に、太陽光発電による EV 充電器を設置しました。これにより、市内で大規模停電が発生した際にも、本庁舎で発電した電気を EV へ充電し、電気を必要とする施設に供給することが可能となります。

武里南小学校では、避難所となる体育館の近くに非常用コンセントを設置し、災害時の非常用電源として活用できます。



災害対策本部に設置した非常用コンセント



ピロティ駐車場に設置した EV 用充電器

※3 リバースオークション

買い手が希望する条件を提示し、売り手が価格を競り下げていくオークション方式。

※4 カーボン・オフセットガス

発生する温室効果ガスを、別の場所の取り組みによる CO₂ 排出削減量・吸収量(J-クレジット)で相殺すること(カーボン・オフセット)により、燃焼しても地球規模では排出量をゼロとみなすガス。

問い合わせ先

環境経済部 環境政策課

担当：川鍋・三浦 直通：048-736-1136